

**令和元年度  
事業主雇用実態・意向調査結果**

**帯広・南十勝通年雇用促進協議会**

## 令和元年度（平成 31 年度）事業主雇用実態・意向調査結果

### 1. 調査目標

季節労働者の雇用状況や事業所の雇用についての意向を把握し、今後の事業展開の基礎資料とするため。

### 2. 調査対象

季節労働者を雇用する事業所

### 3. 調査方法

帯広公共職業安定所よりご提供いただいた季節労働者を雇用している、または雇用していたことがあると思われる当協議会構成地域に所在する事業所及び協議会事業に参加したことがある近隣町村に所在する事業所に調査票、返信用封筒を郵送し調査協力を依頼するとともに、事業所訪問の際に直接協力依頼をした。

### 4. 実施期間

平成 31 年（令和元年）6 月 1 日を基準日とし 7 月 31 日を調査期限として実施した。

### 5. 配布枚数及び回収枚数

395 事業所に対し送付し、108 事業所より回答を得た。（27.3%）

### 6. 調査結果の概要

#### 【事業所の概要】

回答いただいた 108 の事業所のうち、業種では「建設業（総合工事業）」が 48%、「建設業（職別工事業）」が 30%、「建設業（設備工事業）」が 7%で建設業合計が 85%、次いで「農業」と「警備業」が各 5%となっており、例年同様「建設業」の割合が突出する結果となっている。

また、従業員数でも「1～5 名」が 27%、「6～10 名」が 24%、「11～15 名」が 11%の順となり小規模事業所の割合が多く、特に「10 名以下」が 51%とここ数年同じ傾向にある。

従業員の動向も「横ばい」が前年 63%から 57%、「減少」が 19%から 31%に、「増加」は 18%から 11%となり全体的に従業員の動向は減少の傾向が強まっている。

従業員の過不足状況では「ちょうど良い」が 4 年前の 58%から年々減少し前年 36%まで減少したが、今回は 42%と微増になっている。「不足している」は、3 年前の 40%から年々増加し前年 63%となったが、今回は 57%と微減となっているが、ここ数年来の「人手不足」の実態は現在も引き続いていると思われる。

また、「不足している」と答えた事業所での不足数は、前年「2 名」が 27%、「3 名」が

23%、「5名」が19%の順でしたが、今回は「2名」の割合が34%、次いで「5名」が21%、「3名」15%の順になっている。

対応策ではこれまで一番多かった「ハローワークへの求人」が、ここ数年減少が続き前年は30%となり、逆に微増が続いてきた「従業員などへの紹介依頼」が前年31%で、初めて逆転する結果となったが、今回はまた「ハローワークへの求人」が33%、続いて「従業員などへの紹介依頼」が28%、「求人情報誌への求人広告」23%の順になっている。

#### 【季節労働者の雇用動向及び通年雇用化について】

回答いただいた108の事業所のうち季節労働者を雇用している事業所は雇用予定も含め89社（83%）、季節労働者数は597名である。

季節労働者を雇用している理由は、「積雪寒冷により事業の継続が困難だから」が40%、「特定時期に業務量が増加するから」が33%と例年同様この二つが大きな理由になっている。次いで「本人の希望だから」が16%と続いている。

今後の季節労働者の雇用についての考えでは「現状と同程度の雇用を維持する」が前年55%から今回も56%と一番多く、次いで「雇用を拡大する」が前年22%から17%に減っている。現状では多くの事業所で季節労働者の雇用に頼るところも大きく、ここ何年か「通年雇用」での求人においても労働者の反応が芳しくないと言われており、季節労働者の雇用に頼らざるを得ない状況などがあり、考え方に大きな変化は見られない。

季節労働者の通年雇用化の状況は、回答いただいた108社中57社53%の事業所で過去3年間に季節労働者を通年雇用にしている。

通年雇用化を行った理由では「いい人材を確保するため」が前年58%から67%に増やし一番多く突出している。次いで「業務が平準化したため」16%、「通年雇用している労働者の退職に伴う補充のため」11%の順になっている。人手不足の中「人材確保」が通年雇用化の大きな要因であることがここ数年来の傾向になっている。

また、通年雇用に伴う助成制度の活用については、「第3者に相談し検討」が49%、「自分で調べて検討」30%というように合わせて79%が助成金の活用を検討しており、そのうちの78%が「通年雇用助成金」、4%が「トライアル雇用助成金」をそれぞれ活用している。

今後の季節労働者の通年雇用化についての考え方では、「希望する季節労働者の通年雇用化を積極的に進めていきたい」が前年同様1番多く35%、前年の28%より微増となっており年々増加傾向にあります。次いで「必要な技能を有する者に限り通年雇用化を進めていきたい」も16%で前年の20%より微減となっているが、全体として通年雇用化を進めていきたいとの考えは68%で前年の61%から微増となっている。また、「わからない」「特に考えていない」は、合わせて28%で前年の34%から微減に

なっていることから通年雇用化への意向は年々強くなっている。

通年雇用化するに当たり重視することは、前年同様「必要な技能・資格を有すること」が最も多く23%であるが、2年前45%、前年36%と年々その割合を減らしてきている。

次いで「これまでの勤務成績が良好であること」も前年32%から21%に減っており、これまでこの二つが特に重視されてきたが、今回の調査では、「経験・実績」が前年2%から16%へ、「本人の希望が強いこと」が前年10%から12%へ、「人格・性格」前年7%から11%へ、「職場でリーダーシップを発揮できる」前年2%から10%へというように通年雇用化に向け事業主が重視する点が分散化してきている。

### 【協議会及び協議会が実施する事業について】

協議会を利用している事業所は全体の21%となっていますが、利用する利用しないを含め協議会の存在そのものの認知度については82%になっています。しかし、「協議会のことは知っているが、利用していない」が全体の55%です。

協議会がすすめている事業や今後の事業計画に向け具体的な「事業所の声」を拾うための「設問」を設けました。

「経営相談事業」については「相談する事柄がない」が一番多く29%、次に「活用しない」が19%、「別機関に相談している」が16%で「経営相談事業」を活用しない方向での回答が64%と非常に多い。一方「今後活用を検討したい」が13%、「活用したい」は3%と合わせても非常に少ない現状にあります。

「事業主推薦による技能講習」については「活用について検討したい」が26%で一番多く、次いで「参加させたい」が22%、合わせると48%で前回38%から増加している。

また、「受講させたい講習がない」は前年19%から8%と減少している。

今後とも、事業に参加いただくよう事業主がどのような講習を望んでいるのか、どのような講習が通年雇用につながるのかなど更なる調査、研究が必要である。

現在、実施している「作業主任者技能講習」についての受講ニーズを把握するための設問では、「足場の組立て等」が22%（38社）、「地山掘削及び土止め支保工」が15%（26社）、「型枠支保工の組立て等」が15%（26社）の順で要望があった。「作業主任者技能講習」は4年間実施してきているが、講習についての要望は大きく変わってはならず、引き続き調査に基づく事業所への対応が求められる。

また、新しい事業メニューに向けた設問では、「2級土木施工管理技士」が18%（22社）、「2級建築施工管理技士」が12%（15社）と前回調査と大きな変化はなかった。

その他具体的な希望として「警備業関連の講習」、「フルハーネス特別講習」、「1級型枠技能士」、「基幹技能者講習」などの意見を受けた。

今後も事業計画に「事業所の声」が反映できるよう取り組んでいかなければならない。

事業主雇用実態・意向調査集計表（令和元年度実施）

問1 貴社（事業所）の状況についてお伺いします。

(1) 貴社（事業所）の所在地はどこですか

1. 帯広市	82	76%
2. 中札内村	3	3%
3. 更別村	1	1%
4. 大樹町	4	4%
5. 広尾町	11	10%
6. その他地域	7	6%
7. 無回答	0	0%
	108	100%

(2) 貴社（事業所）の業種は何ですか

1. 農業	5	5%
2. 林業	3	3%
3. 漁業	0	0%
4. 採石業、砂・砂利・玉石採取業	0	0%
5. 建設業（総合工事業）	52	48%
6. 建設業（職別工事業）	32	30%
7. 建設業（設備工事業）	8	7%
8. 食品製造業	0	0%
9. その他製造業	0	0%
10. 電気・ガス・水道業	0	0%
11. 運輸業	0	0%
12. 警備業	5	5%
13. 卸売・小売業	0	0%
14. サービス業	3	3%
15. その他	0	0%
16. 無回答	0	0%
	108	100%

(3) 貴社（事業所）の全従業員数は何名ですか。季節労働者の雇い入れがある場合は含めて下さい

1. 1～5名	29	27%
2. 6～10名	26	24%
3. 11～15名	12	11%
4. 16～20名	11	10%
5. 21～25名	6	6%
6. 26～30名	6	6%
7. 31～35名	5	5%
8. 36～40名	2	2%
9. 41～50名	3	3%
10. 51～60名	1	1%
11. 61～80名	2	2%
12. 81～99名	0	0%
13. 100名以上	3	3%
14. 無回答	2	2%
	108	100%

問2 ここ3年間の貴社の雇用状況についてお伺いします。

(1) 貴社（事業所）の従業員数の動向は昨年同時期と比べどうですか

1. 増加傾向	12	11%
2. 横ばい	62	57%
3. 減少傾向	34	31%
4. 無回答	0	0%
	108	100%

(2) あなたの事業所での 従業員数の過不足状況はどうですか

1. 過剰である	0	0%
2. 不足している	62	57%
3. ちょうど良い	45	42%
4. 無回答	1	1%
	108	100%

(3) 「不足」と答えた事業所での不足している人数はおおよそ何人ですか

1. 1名	8	13%
2. 2名	21	34%
3. 3名	9	15%
4. 4名	3	5%
5. 5名	13	21%
6. 6～7名	0	0%
7. 8～9名	0	0%
8. 10名以上	6	10%
9. 無回答	2	3%
	62	100%

(4) 不足の対応策として、どのようなことを実施または検討していますか（複数回答可）

1. ハローワークへの求人	39	33%
2. 求人情報誌への求人広告	28	23%
3. 新聞への求人広告	10	8%
4. 従業員などへの紹介依頼	33	28%
5. その他	5	4%
6. 何もしていない	5	4%
7. 無回答	0	0%
	120	100%

問3 季節労働者の雇用についてお伺いします。

(1) 現在、季節労働者を雇用していますか

	事業所数	雇用数
1. 雇用している	85	79%
2. 雇用する予定	4	4%
3. 雇用していない	18	17%
4. 無回答	1	1%
	108	100%

(2) 貴社が季節労働者を雇用している理由についてお伺いします（複数回答可）

1. 特定時期に業務量が増加するから	42	33%
2. 積雪寒冷により事業の継続が困難だから	51	40%
3. 雇用調整が容易だから	9	7%
4. 人件費が割安だから	1	1%
5. 簡単な仕事内容だから	2	2%
6. 人員の確保が容易だから	1	1%
7. 本人の希望だから	21	16%

8. その他	0	0%
9. 無回答	1	1%
	128	99%

問4 今後の季節労働者の雇用について考え方を伺います。

(1) 貴社では、今後季節労働者の雇用についてどのように考えていますか

1. 雇用を拡大する	18	17%
2. 現状と同程度の雇用を維持する	61	56%
3. 雇用を縮小する	2	2%
4. 雇用していないが、検討する	10	9%
5. 雇用しているが今後は考えていない	8	7%
6. 雇用していませんが今後も考えていない	6	6%
7. 無回答	3	3%
	108	100%

(2) 今後、季節労働者を雇用する場合の方針についてどの様に考えていますか。(複数回答可)

1. 必要な技能・資格を有する者を優先する	52	30%
2. 若年者を優先する	30	17%
3. これまでの勤務成績を重視する	36	21%
4. 本人の家族・家庭の事情を勘案する	14	8%
5. 勤続年数の長い者を優先する	13	8%
6. 自社での雇用実績がなくとも人物本位で選ぶ	26	15%
7. 無回答	1	1%
	172	100%

問5 貴社における季節労働者の通年雇用化及び季節労働者がいない事業所は季節労働者を新たに通年で雇い入れることについて伺います。

(1) 今後の季節労働者の通年雇用化及び通年の雇入れについてどのように考えていますか  
(複数回答可)

1. 希望する季節労働者の通年雇用化を積極的に進めていきたい	47	35%
2. 必要な技能・資格を有する者に限り通年雇用化を進めていきたい	21	16%
3. 若年層に限り通年雇用化を進めていきたい	16	12%
4. 新規分野の事業が軌道に乗った場合、通年雇用化を進めていきたい	7	5%
5. わからない(業績の動向など不確定要素が多いため)	24	18%
6. 季節労働者の通年雇用化及び通年での雇い入れは特に考えていない	13	10%
7. 無回答	5	4%
	133	100%

(2) 貴社(事業所)において季節労働者を通年雇用化するにあたり、重視することは何ですか。  
(複数回答可)

1. 必要な技能・資格を有すること	42	23%
2. これまでの勤務成績が良好であること	39	21%
3. 職場でリーダーシップを発揮できること	19	10%
4. 本人の希望が強いこと	23	12%
5. 経験・実績	29	16%
6. 人格・性格	21	11%
7. 若年であること	11	6%
8. その他	2	1%
9. 無回答	0	0%
	186	100%

(3) 雇用する季節労働者を通年雇用化する上で、貴社が必要と考える具体的な技能・資格について伺います。

1. 大型自動車運転免許	13	30%
2. 大型特殊自動車運転免許	7	16%
3. けん引運転免許	0	0%
4. 玉かけ	6	14%
5. 小型移動式クレーン運転	4	9%
6. 車両系建設機械運転	6	14%
7. フォークリフト運転	0	0%
8. その他	4	9%
9. 無回答	4	9%
	44	100%

問6 貴社（事業所）における季節労働者の通年雇用化の状況についてお伺いします。

(1) 貴社（事業所）で過去3年間に季節労働者を通年雇用にしたことがありますか

1. 通年雇用にしたことがある	57	53%
2. 通年雇用にしたことはない	44	41%
3. 季節労働者を雇ったことがない	6	6%
4. 無回答	1	1%
	108	100%

(2) 通年雇用化した際の理由は何ですか

1. 通年雇用している労働者の退職に伴う補充のため	6	11%
2. いい人材を確保するため	38	67%
3. 業務が平準化したため	9	16%
4. 新分野進出、経営の多角化が軌道に乗ったため	0	0%
5. その他	4	7%
6. 無回答	0	0%
	57	100%

(3) 通年雇用に際し、助成制度の活用を検討しましたか

1. 自分で調べて検討した	17	30%
2. 第三者に相談し検討した	28	49%
3. 検討しなかった	10	18%
4. 無回答	2	4%
	57	100%

相談した第三者の記載がある

26 社

(4) 検討した結果、通年雇用奨励金などの助成制度を活用しましたか

1. 通年雇用奨励金を活用した	35	78%
2. トライアル雇用助成金を活用した	2	4%
3. その他の助成制度を活用した	0	0%
4. 助成制度を活用できなかった	6	13%
5. 無回答	2	4%
	45	100%

活用できなかった理由の記載がある

4 社

問7 「通年協促進支援事業」を実施している協議会についてお伺いします。

1. 協議会を利用している	23	21%
---------------	----	-----

2. これまで利用していないが、今後は利用する予定	6	6%
3. 協議会のことは知っているが、利用していない	59	55%
4. 協議会のことは知らない	13	12%
5. その他	2	2%
6. 無回答	5	5%
	108	100%

問8 協議会が実施している事業についてお伺いします。

(1) 通年雇用に向けた各種助成制度の説明や活用方法などについて社会保険労務士による説明相談を実施中ですが、この訪問相談についてお尋ねします。

1. 活用したい	3	3%
2. 活用について検討したい	14	13%
3. 別の機関に相談している	17	16%
4. 相談する事柄がない	31	29%
5. 活用しない	20	19%
6. わからない	18	17%
7. その他	0	0%
8. 無回答	5	5%
	108	100%

(2) 事業主の推薦で通年雇用化を検討している季節労働者に建設作業免許の無料講習を実施していますが、この事業主推薦による技能講習についてお尋ねします。

1. 参加させたい	24	22%
2. 活用について検討したい	28	26%
3. 活用しない	14	13%
4. 受講させたい講習がない	9	8%
5. 通年雇用化を考えていない	11	10%
6. わからない	12	11%
7. その他	2	2%
8. 無回答	8	7%
	108	100%

(3) 下記の作業主任者技能講習で、貴社に働く季節労働者に受講させたい講習があれば、選んでください。（複数回答可）

1. 足場の組立て等作業主任者	38	22%
2. 型枠支保工の組立て等作業主任者	26	15%
3. 地山掘削及び土止め支保工作業主任者	26	15%
4. はい作業主任者	3	2%
5. コンクリート造の工作物の解体等作業主任者	10	6%
6. 採石のための掘削作業主任者	2	1%
7. その他作業主任者	10	6%
8. ない	45	26%
9. 無回答	13	8%
	173	100%

(4) 下記の講習会で、貴社に働く季節労働者に受講させたい講習があれば、選んでください。（複数回答可）

1. 2級土木施工管理技士	22	18%
---------------	----	-----

2. 2級建築施工管理技士	15	12%
3. 空撮系ドローン	8	7%
4. 農業系ドローン	4	3%
5. 危険物乙種4類	3	2%
6. 2級ボイラー	3	2%
7. ない	55	45%
8. 無記入	12	10%
	122	100%

(5) 上記以外に実施を希望する講習会などがあれば具体的にご記入ください。

記載がある

4社

問9 協議会への要望、事業内容への意見、経営上の悩みなど、どの様なことでも結構ですので皆さんの声を寄せてください。

1. 意見がある	9
----------	---

【記述部分】

問1(1) 貴社(事業所)の所在地はどこですか

6.「その他」

- ・音更町(警備業)
- ・音更町(職別工事業)
- ・士幌町(総合工事業)
- ・幕別町(警備業)
- ・幕別町(総合工事業)
- ・幕別町(総合工事業)
- ・芽室町(総合工事業)

問2(4) 「不足」の対応では、どのようなことを実施または検討していますか。

5.「その他」

- ・企業説明会参加(帯広市・職別工事業)
- ・商工会広告(大樹町・総合工事業)
- ・インターネット求人サイトへ登録(帯広市・総合工事業)
- ・人材紹介会社登録(帯広市・総合工事業)

問5(2)

8. その他

- ・協調性のある人物(帯広市・警備業)
- ・仕事が続くなら人物に関係なく希望者は通年雇用したい(帯広市・総合工事業)

問5(3)

8. その他

- ・警備業法関連の資格 交通、雑踏、教育指導責任者資格(帯広市・警備業)
- ・溶接工(帯広市・職別工事業)
- ・木造組立作業主任者(帯広市・総合工事業)
- ・測量士、測量士補、1級土木施工管理技士(帯広市・サービス業)
- ・職長教育(帯広市・総合工事業)
- ・溶接工(帯広市・設備工事業)
- ・技能工(帯広市・職別工事業)

問6(2)

5. その他

- ・地域に若者の職場を確保するため(大樹町・農業)
- ・(冬期間等)本州での仕事ができただため(帯広市・職別工事業)
- ・本人希望(広尾町・総合工事業)

問6(4)

4.活用できなかった理由があればご記入ください

- ・人数不足(帯広市・総合工事業)
- ・知らなかった(帯広市・職別工事業)
- ・手続きが難しい(幕別町・総合工事業)
- ・前年度の勤務状況が制度の対象とならなかった(幕別町・総合工事業)

問7

5. その他

- ・以前利用したことがある(帯広市・職別工事業)

問8(2)

7. その他

- ・時期があわない(帯広市・総合工事業)
- ・参加を打診したが断られた(幕別町・総合工事業)

問8(3)

7. その他作業主任者

- ・鉄筋組立作業(帯広市・職別工事業)

問8(5)

- ・警備業法関連の講習 交通誘導2級検定及び雑踏(帯広市・警備業)
- ・フルハーネス特別教育(帯広市・総合工事業)
- ・1級型枠技能士(帯広市・職別工事業)
- ・基幹技能者講習(帯広市・総合工事業)

問9 協議会では事業主の皆さんの声を反映し、皆さんに参加を頂けるような実りある事業とするよう検討しているところです。協議会への要望、事業内容への意見、経営上の悩みなど、どの様なことでも結構ですので協議会へ皆さんの声をお寄せください。

・季節労働者の高齢化のため、技能講習等の新規受講は現在ない。若年層あるいは外国人、技能実習生の雇用を促進していきたい。(帯広市・職別工事業)

・季節労働者の通年雇用化は現在のところ必要ありません。(帯広市・設備工事業)

・現在、季節労働者は在籍しておりませんが、数年前、こちらの協議会を通じて従業員の資格取得をさせていただきました。また、季節労働者を雇用する事がありましたら、お世話になる事もあると思います。このようなサポートがあると大変助かります。(帯広市・職別工事業)

・通年雇用化にむけて検討していますが建設業の発注が通年であればそれがかないませんが3月年度末で工事終了で新年度の工事受注が確実にできず通年雇用が難しいです。(広尾町・総合工事業)

・私共は警備業ですがこの内容に該当しないと思います。警備業は、サービス業であり建設業には当たりません。よく考察されてください。(音更町・警備業)

・2級建設機械施工技士の方が重機経験者にはとやすいかもかもしれません。1種～6種まで得意分野で受講できます。加点にもなりますから通年への足掛かりにもなると思います(帯広市・総合工事業)

・色々な助成金を受け取れるのがあれば案内してほしい。その助成金で免許等を取らせに行かせたいので(帯広市・総合工事業)

・今年の春先に雑談の中で聞いた時には本人にその気がないのが多く考えてもないようでした。大変ありがたい取り組みなのですがお世話になる機会がなく残念です(幕別町・総合工事業)

・職員の高齢化。求人を出しても誰もこず、前途暗しです。受注後のやりくりが苦勞です(下請けの職人不足も含めて)(中札内村・総合工事業)